

海底王国のすごいやつメガロ / 傷だらけのゴジラ必殺のウルトラC!

# ゴジラ対メガロ

〈カラー作品〉

監督 脚本 ■ 福田 純  
 製作 ■ 田中友幸  
 原 作 ■ 関沢新一  
 特殊技術 ■ 中野昭慶

監修 ■ 佐々木 康  
 監修 ■ 川瀬 裕之  
 監修 ■ 林 ゆたか

美術 ■ 高橋 正  
 美術 ■ 藤田 進  
 美術 ■ 森本 正  
 美術 ■ 吉澤 信  
 美術 ■ 高橋 正  
 美術 ■ 藤田 進  
 美術 ■ 森本 正  
 美術 ■ 吉澤 信

撮影 ■ 高橋 正  
 撮影 ■ 藤田 進  
 撮影 ■ 森本 正  
 撮影 ■ 吉澤 信

録音 ■ 高橋 正  
 録音 ■ 藤田 進  
 録音 ■ 森本 正  
 録音 ■ 吉澤 信

編集 ■ 高橋 正  
 編集 ■ 藤田 進  
 編集 ■ 森本 正  
 編集 ■ 吉澤 信

音楽 ■ 高橋 正  
 音楽 ■ 藤田 進  
 音楽 ■ 森本 正  
 音楽 ■ 吉澤 信

製作 ■ 東宝映像株式会社 配給 ■ 東宝株式会社



ジェット・ジャガー



ガイガン

メガロ

ゴジラ

# ゴジラ対メガロ

## ■ものがたり

今から三百万年前、海底へ沈下したと伝えられているムー大陸が、今なおシートピア王国として海底にそのままの姿で存在していた。しかし海底王国の平和も、地上人のたび重なる核実験によってかためつの寸前にあった。海底人は平和を守るために、シートピア王国の守護神「メガロ」を呼びだし、地上人をうつため地上へと送り出した。だがこのメガロを誘導するためには、どうしても電子工学専攻の伊吹吾郎がつくった電子ロボット、ジェット・ジャガーが必要だった。海底人たちは研究所をおそってジェット・ジャガーをうばい、吾郎と弟・六郎をとらえようとしたが、危機一ぱつ、レーサーの陣川博によって助けられた。

メガロは、ジェット・ジャガーの誘導で次々と日本をおそう。しかし突ぜん、ジェット・ジャガーが海底人のコンピューターの支配からはなれ、自分の意志で動きだした。それは体内にとりつけられた良心回路が作用し、正義にめざめたときだけ、自分の意志をもつようにつくられていたからだ。

ジェット・ジャガーは巨大な昆虫怪獣メガロと対決する。ジェット・ジャガーはみるまに巨大に大きくなり、メガロと同じ大きさに



なり、息づまるたたかいはじまった。

海底人は、M宇宙ハンター星雲からガイガンをおよよせ、ジェット・ジャガーをおそわせる。ジェット・ジャガーはピンチにおちいた。

この時、怪獣島から海をわたり、日本へまっしぐらにかけつけた怪獣がいた。ゴジラだ！口に電柱をつまようじのようにくわえ、こわきに大木をかかえて、ジェット・ジャガーのピンチを救うためかけつけてきたのだ。

ゴジラとジェット・ジャガー対メガロ、ガイガンによるすさまじいたたかいはじまった。

ゴジラもメガロというかつてない最大の強敵に出合い、全身きずだらけになって、悪戦苦闘。ついにゴジラとジェット・ジャガーが考案した必殺技ウルトラCがとび出した。このウルトラCのまえに、さしものメガロ、ガイガンも敗れたのだ。

ジェット・ジャガーとゴジラはかたい握手をかかずと、再びゴジラは怪獣島へもどり、そしてジェット・ジャガーは等身大の大きさにもどって、伊吹のもとへ帰っていった。

## ●メガロ

- 種類・こん虫怪獣
- 大きさ・身長55メートル・体重4万トン
- 武器・①口から地熱ナバーム弾 ②両手の先は万能ドリル ③角からはレーザー殺獣光線、レーダーにもなる。④羽根は風速千メートルの風を起こし、ビルを一瞬に破壊する。守護神だった。

- ジェット・ジャガー
- 種類・キカイ獣(電子ロボット)
- 大きさ・身長1.8メートル(戦う時には50メートルに変身する)体重150キロ(変身すると2万5千トン)

- 武器・①口からは液体室素をはき、炎も一瞬に凍らせる。また敵の電波を混乱させる防害電波を発射する。②足のロケット噴射で、マッハ3.5で飛べる。

## ■スタッフ

製作 田中 友幸  
原作 関沢 新一  
脚本・監督 福田 純  
撮影 逢沢 謙  
美術 本多 好文  
音楽 真鍋理一郎  
特殊技術 中野 昭慶

## ■キャスト

伊吹吾郎……………佐々木勝彦  
六郎……………川瀬 裕之  
陣川博……………林 ゆたか  
アントニオ……………ロバート・ディーン  
黒服の男……………富田浩太郎  
ゴジラ……………高木 真二  
メガロ……………伊達 秀人  
ガイガン……………中山 敏吾  
ジェット・ジャガー……………駒田 次利

(昭和四十八年三月 封切)